

荻生分団が愛知県消防操法大会で優勝 おめでとうございます

みよし史上初



7月4日(土)、蟹江町で開催された第71回 愛知県消防操法大会(小型ポンプ操法の部)で、本市の荻生分団が優勝しました。小型ポンプ操法とは、指揮者と1～3番員、補助員の5人でチームを組み、火点(標的)を放水で倒すまでの動作の正確さとタイムを競うものです。県の操法大会で本市が優勝したのは、今回が初めて。受賞の喜びを要員一人一人からお聞きしました。

防災安全課 ☎32-8046 FAX 76-5702

◆ 団長のコメント

このたび、みよし市消防団の荻生分団が愛知県消防操法大会において、初優勝という栄誉ある成績を収めることができました。これまでご指導・ご支援をいただいた皆さま、そして地域の皆さまに心より感謝を申し上げます。今回の優勝は分団員一人一人が積み重ね

てきた努力と、仲間を信じ支え合う団結力のたまものです。この結果を励みに、今後も地域住民の安全・安心を守るため、消防団活動に一層精進してまいります。引き続き、消防団活動へのご理解とご協力をお願いいたします。



みよし市消防団
荻生分団長
奥村祐右団長

小型ポンプ操法の流れ

① 開始・配置



指揮者の号令でスタート。それぞれの役割へ動き出します

② 吸水



ポンプへ水を送る準備をします

③ ホース延長



火点までホースを伸ばします

④ 送水



ポンプを動かし、水を送ります

⑤ 放水



火点に向けて放水。正確さと速さを競います

※実演している写真は、過去の操法大会のものを説明用に使用しており、荻生分団の写真ではありません。

◆ 要員の皆さんのコメント



うえのつかさ
指揮者 上野司さん

家族をはじめ地域の皆さん、消防署の指導員の皆さんなど、たくさんの人に支えてもらったことに恩返しをしたいという思いで大会に臨みました。愛知県は大規模災害が危惧されていますが、今回支えてもらった分、災害が起きた時に少しでも貢献できればと思います。そして、そういった仲間がもっと増えてほしいです。

4年間、同じメンバーで大会に出場していたので結束力が強かったし、選手以外の団員もよくサポートしてくれたので、筋生分団は強かったのではないかと思います。自分たちは優勝を目標に一生懸命やった結果、優勝することができたので、目標を持って頑張れば何事も達成できるということを皆さんに伝えたいです。



よしむらこういち
1番員 吉村浩一さん



やまだこうや
2番員 山田浩哉さん

率直にすごくうれしかったです。団のみんなですずっと県大会で優勝しようと話していました。やっと周りの皆さんの期待に応えることができて、一安心した気持ちもあります。みんな家庭や仕事がある中で時間を作って練習をしました。その分、家族や職場の皆さんにはとても感謝しています。

筋生分団は、県大会に7回出場しています。今回は例年よりも大会の開催が早く短期決戦となってしまったのですが、7回出場という経験の差が優勝へつながったんだと思います。皆さん、応援ありがとうございました。これからも地域の安全・安心のために、消防団の活動を頑張っていきたいと思います。



みやそのけいすけ
3番員 宮園慶輔さん



ちば なおき
補助員 千葉直樹さん

常に「優勝したい」というモチベーションで、1回1回の練習に集中して取り組みました。市や行政区の皆さん、練習に快く送り出してくれた家族に感謝しています。ずっと優勝という1つの目標にみんなで向かっていたので、団結力・チームワークはどの団よりも良く、いい雰囲気です。本番に臨めたと思います。

指揮者の役割

全体に号令をかけ安全を確認しながらチームを指揮します。操法全体の流れをまとめます。



1番員の役割

ポンプから火点に向けて素早く正確にホースを延ばし、連結させます。



2番員の役割

吸管を水槽に入れてポンプへ水を送る準備と、火点付近で障害物除去を想定した動きなどをします。



3番員の役割

ポンプを操作し、適切な水圧になるよう調整します。



補助員の役割

選手の補助や安全確認などのサポートで、チーム全体を後方から支えます。



団員募集

「自分たちの地域は自分たちで守る」の精神の下、消防団に入団して地域のために活動していただける人を募集しています。みんなのヒーロー消防団。入団、お待ちしております。

対象 市内在住・在勤・在学で、18歳以上の健康な人
※入団方法や活動内容などの詳細は、ホームページをご覧ください。



ホームページ